

競 技 注 意 事 項

1 本大会は2023年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会中し合わせ事項により実施する。

2 開門時間・ウォーミングアップについて

(1) 練習場および練習について

① 本競技場 (ウォームアップとしてトラック種目のみ)

	開門時間	練習時間
第1日	6:30	7:00 ~ 9:00 (女子棒高跳は可)
第2日	6:30	7:00 ~ 9:30 (男子棒高跳は可)
第3日	6:30	7:00 ~ 9:00

② 補助競技場 (トラック種目、跳躍種目のみ)

	開門時間	練習時間
第1日	6:30	7:00 ~ 16:30
第2日	6:30	7:00 ~ 17:30
第3日	6:30	7:00 ~ 16:30

○本競技場のレーンの使用区分は、原則として次のようにする。(フィールド芝生内への立入禁止)

(ア) 1・2レーンは、長距離、競歩用周回コースとする。

(イ) 第4コーナー付近は曲走路を優先とし、コーンによる規制に従うこと。

1日目	ホームストレート 6・7レーン 女子100mH 8・9レーン: 男子110mH 第1・2コーナーからバックストレート 8・9レーン: 男女400mH
2日目	第3・4コーナーからホームストレート 3・4・5・6レーン: リレー優先 第1・2コーナーからバックストレート 8・9レーン: 男女400mH
3日目	ホームストレート 8・9レーン 男子110mH

○補助競技場のレーンの使用区分は、原則として次のようにする。(フィールド芝生内への立入禁止)

(ア) 周回1・2レーンは、中・長距離ならびに競歩

(イ) 周回3・4レーンは、リレーを含めた短距離

(ウ) 周回5・6レーンは(第1曲走路からバックストレート)は400mH

(エ) ホームストレートの3~6レーンは短距離

(オ) ホームストレートの7・8レーンは100mH・110mH

※安全を確保するため、逆走を禁止とする。

③投てき練習場 (本競技場および補助競技場での投てき練習は禁止)

使用時間表				
	砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
15日(木)	13:00-16:30	15:15-16:30	13:00-15:15	助走練習のみ可
16日(金)	7:00-16:30	9:00-11:00 13:00-14:30	7:00- 9:00 11:00-13:00	14:30-16:30
17日(土)	7:00-17:00	7:00-10:00 12:00-14:00	不可	10:00-12:00 14:00-17:00
18日(日)	7:00- 9:30	不可	不可	7:00-13:00

(2) 前日練習 (15日) について

・午前の練習は、補助競技場の個人利用 (有料) のみ可能とする。

・午後の練習は、以下の通りとする。(無料)

○本競技場 13:00~16:30 トラック、幅跳ピット、高跳ピット、棒高ピット

(フィールド芝生内不可 1・2レーン: 中長距離、3~7レーン: 短距離、8・9レーン: ハードル)

○補助競技場 13:00~16:30; トラックのみ (フィールド芝生内不可、器具なし)

○投てき練習場: 上記(1)③を参照。(15日については必ず指導者が帯同すること)

(3) 室内練習走路の使用について

・本競技場内室内練習走路 (A: 第2曲走路側スタンド下、B: バックストレート側スタンド下) の使用について、Aは雨天時のみ、Bは常時とする。しかし、大変狭いスペースであるので、事故を起こさないように安全に留意し、ピストルの使用等大きな音を出すことは禁止する。また逆走をしないこと。(詳細はプログラム参照)

・使用者は第3ゲート外側から入退場すること。(ID許可者のみ可)

- (4) スタジアム1F駐車場、地下駐車場でのアップ等は禁止とする。(安全確保のため)
- (5) ベンチについて
 - ・四県で割り当てをする。(スタジアム1F駐車場・地下駐車場のベンチ取りは禁止)
 - ・競技1日目の開門は、6時30分に2カ所(正面スタンド側「W4」、バックスタンド側「E5」のゲート)とする。並んで待つこと。(前日にあらかじめ割振られた場所に荷物を置くことは可)

3 招集について

- (1) 招集所は本競技場の第4ゲートシャッター外側(100mスタート後方)に設置する。
- (2) 招集時間は、競技開始時刻を基準とし、下記の通りとする。

		招集開始	招集完了
トラック競技		20分前	10分前
4×100mR予選・4×400mR予選		30分前	20分前
フィールド競技	走高跳	50分前	40分前
	棒高跳	90分前	80分前
	走幅跳・三段跳	40分前	30分前
	投てき	50分前	40分前
	砲丸投	40分前	30分前
混成競技		2日間とも第1種目は招集所で招集を受けること。 第1種目がトラック種目の場合は20分前から10分前、フィールド種目の場合は、40分前から30分前とする。 第2種目以降は、トラック種目は競技開始10分前までに、フィールド種目は競技開始30分前までに競技場所での招集を受けること。(その際トラック種目の腰ナンバーカードは、現地で配布する)	

- (3) 招集は本人が行い、完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- (4) 出場する種目を棄権する場合は、招集開始時刻までに招集所競技者係に口頭で申し出ること。
- (5) 各種目とも競技者の集合が完了したら、直ちに入場するのでその場を離れないこと。
- (6) 招集所から競技場へ行くときは係員の誘導に従い、高校生競技者としての自覚を持ち、規律ある行動をとること。

4 競技について

- (1) 各県の総監督・男女監督以外は、グラウンド内への出入りを禁止する。
 - (2) スタートについて
本大会は、日本陸上競技連盟競技規則第162条5の国内適用とする。混成競技を除く全てのトラックレースで、不正スタート1回で失格となる競技会である(混成競技は不正スタート2回目以降は誰でも失格となる)。
 - (3) 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で示す。
 - (4) 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。
 - (5) スパイクのピンの長さは9mm以下を使用すること。ただし走高跳・やり投は、12mm以下のものとする。
 - (6) 4×100mRの第2・3・4走者は、主催者の用意するマーカー(1ヶ所)を使用することとするが、各自で用意したテープを使用しても良い。(大きさは50mm×400mm以内とする)
 - (7) リレーの「オーダー用紙」は、4×100mR予選は招集完了時刻の1時間前までに、4×400mR予選は招集完了時刻の30分前までに、準決・決勝は招集開始時刻までに招集所競技者係に1部を提出すること。
(用紙はプログラムの巻末とTICに用意している)
- | | | | | | |
|-------------|-----------|-------|--------|----------|---------|
| オーダー用紙締切り時刻 | 女子4×100mR | 大会2日目 | 予選8:50 | 準決勝14:00 | 決勝16:40 |
| | 男子4×100mR | 大会2日目 | 予選9:05 | 準決勝14:10 | 決勝16:45 |
| | 女子4×400mR | 大会3日目 | 予選8:40 | 決勝15:10 | |
| | 男子4×400mR | 大会3日目 | 予選9:00 | 決勝15:20 | |
- (8) リレーに出場するチームは、原則として同一のユニフォームを着用するものとする。ただし、色やデザインが同様で同一のチームと判別可能であれば、形状が異なる衣類を着用してもよい。
 - (9) 競技者は、競技区域内での助力は禁止とするが、コーチ席からの助言については、競技運営ならびに他の競技の妨げにならない範囲で認めるものとする。なお、競技者はビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。
※招集後、持込が発覚した場合は、競技終了までTICでの預かりとする。

(10) 抗議は、日本陸上競技連盟競技規則 TR8にもとづき、各県監督が所定の手続きをとること。各県監督はまず口頭で TIC に申し出をし、「抗議記録表」に記入する。その後、TIC から速やかに審判長へ連絡するものとする。

(11) WRk 大会について

- ・WRk 申請競技会につき、WA 競技用靴規定を適用し、適用除外とはしない。
- ・フィールド競技用靴ソールの最大の厚さは 20 mm、三段跳は 25 mm とする。
- ・フィールド競技用靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
(参考) WA が承認した競技用靴リストの URL
- ・審判長が疑義を抱いた場合、競技開始前、競技中、または競技終了後に競技用靴の検査を行う場合がある。
- ・競技用靴規定に違反して競技を行った場合は失格とする。

5 計時・プラス上げについて

- (1) トラック競技は全て、1 / 1000 秒で計時する。
- (2) トラック競技予選の 800m までのプラス上げは、各組 3 着の同着を優先する。但し、準決勝進出者が 14 名に満たない場合は 4 着の中から上位記録者を準決勝に進出させる。その他、準決勝・決勝への進出時に同順位・同タイムが出た場合は、抽選により決定する。(9 レーン競技場も同じ)
- (3) 4 × 400m R は 3 組 2 着 + 2 で行い、プラス 2 は各組 3 ・ 4 着のうち上位 2 チームとする。着差がない場合には代表者の抽選により決定する。違う組において同タイムの場合には、着順が上位のチームを優先する。

6 跳躍種目について

(1) 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方(但し、天候の状況により変更する場合もある)

	練習 A	練習 B	練習 C	競技開始					
男子走高跳	1 m 7 5	1 m 9 0		1 m 8 0	1 m 8 5	1 m 9 0	1 m 9 5	1 m 9 8	以降 3 c m
女子走高跳	1 m 4 5	1 m 5 5		1 m 5 0	1 m 5 5	1 m 5 8	1 m 6 1	1 m 6 4	以降 3 c m
男子棒高跳	3 m 9 0	4 m 3 0	4 m 6 0	4 m 0 0	4 m 2 0	4 m 3 0	4 m 4 0	4 m 5 0	以降 1 0 c m
女子棒高跳	2 m 5 0	2 m 9 0	3 m 3 0	2 m 6 0	2 m 7 0	2 m 8 0	2 m 9 0	3 m 0 0	以降 1 0 c m
八種走高跳 (2ピット)	1 m 4 0	1 m 6 5		1 m 4 5 ~ 8 0 までは 5 c m 刻み					以降 3 c m
七種走高跳 (2ピット)	1 m 2 0	1 m 4 5		1 m 2 5 ~ 4 0 までは 5 c m 刻み					以降 3 c m

(2) 決勝で最後の一人になり優勝者が決まるまで、上記のバーの上げ方とする。

(3) 第 1 位が同成績の場合ジャンプオフを、第 6 位(女子棒高跳は第 4 位)が同成績の場合順位決定戦を実施する。バーの上げ下げは、走高跳は 2 cm、棒高跳は 5 cm とする。

(4) 三段跳の踏切板は、砂場から男子 1 2 m、女子 1 0 m とする。

7 アスリートビブスについて(以下ビブス)

- (1) ビブスは、配布された大きさにユニフォームの胸部と背部につけること。跳躍競技については背部または胸部のどちらか一方につけるだけでよい。
- (2) トラック競技者と、4 × 100m R の第 4 走者、4 × 400m R の第 2 ~ 4 走者は、写真判定用の腰ナンバーカードを招集所で 2 枚受け取り、パンツの左右やや後方につけること。
- (3) 競歩競技者は(女子) 9:30 ~ 10:30、(男子) 11:00 ~ 11:30 に TIC において、自分のビブスを持参し競歩競技者用のビブスを受け取り、胸部と背部につけること。競技終了後に返却すること。

8 競技用具について

- (1) 競技に使用する器具は、主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールおよびやりは、持参したものを検査を受けて使用することができる。
- (2) 検査は、招集開始 30 分前から招集開始時刻までとし、1 0 0 m スタート地点後方倉庫内(第 4 ゲートシャッターの内側)で行い、その場で借り上げ、競技終了後同じ場所で返却する。なお、棒高跳は現地で行う。

- 9 商標名等のついた物品について
競技者は競技場内・練習場内に規定に合ったもの以外は持ち込んではいけません。
- 10 開始式について
第1日目の9時30分より行う。参加者は各県陸協理事長（専務理事）・静岡県高体連陸上競技専門部長・トラック審判長・各県高体連委員長と、前年度男・女優勝校の代表者とする。
- 11 競技方法について
(1) 学校対校とする。なお県対抗を兼ねる。
(2) 種目別得点は、1位8点、2位7点、・・・8位1点とする。
(3) 男女別合計得点によって学校順位を決定する。同点の場合は、上位入賞者数によって順位を決定する。
- 12 表彰について
(1) 学校対抗男女別優勝校には優勝旗を、1位～6位までには賞状を授与する。
(2) トラック1位～3位、フィールド1位～3位に賞状を授与する。
(3) 個人種目別優勝者にはメダルを、1位～8位までには賞状を授与する。
(4) 決勝終了後、1位～6位の選手は、表彰を行う、表彰席で待機し係員の指示を受けること。
(7・8位の選手の賞状は、TICで手渡しとする。)
※本年度本競技場に限り掲揚ポールがないので、東海高校記録樹立のときの部旗の掲揚は行わない。
- 13 全国大会出場資格について
東海地区大会で6位までの入賞者。但し、男女走高跳・男子棒高跳は6位（6名）、競歩競技は5位、女子三段跳・女子ハンマー投は4位、女子棒高跳は4位（4名）までの入賞者。混成競技は3位および、4～6位までの選手を全国で集約し、その上位記録5名に出場資格が与えられる。
- 14 その他
(1) 大会期間中に競技場で発生した傷害や疾病は、医務室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。
(2) 競技場内でテント及びベンチを設置できる場所は、本競技場内第1層のコンコース及び第1層上段のコンコース、補助競技場（トラック外側）とする。ただし、通行の妨げにならないようにすること。
(3) 場所取りのためや、掲示物を貼るためにガムテープなどの粘着テープ類を使用することは一切禁止する。
(4) 清掃・ごみの持ち帰りなど各学校で責任を持って行い、環境美化に努めること。
(5) 横断幕・のぼりの設置範囲は、バックスタンド側第1ゲートから第4ゲート間とする（メインスタンドとの区分フェンスまで）。ただし、横断幕は第2層最前列と2・3列目の手すり（ベンチへの取り付けも可とするがテープ類での取り付けは禁止）とし各校1枚、のぼりは第1層後ろの手すりのみとし各校5本までとする。また各出入口の表示等が見えなくなるような場所や最前列正面には張らないこと。横断幕は張ったままで構わない。
(6) 集団応援等の大会運営に支障をきたすような応援は禁止する。（メインでの集団応援は禁止）また、スタンド第2層での応援、見学は禁止とする。
(7) 駐車場について
・P4： 顧問・選手・一般用、マイクロバス・大型バス用
・P6： 役員・審判員用（駐車制限）
・スタジアム1F正面玄関前駐車場、地下駐車場：各県監督・本部役員用（駐車券発行）
(8) 選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影については各校顧問による許可制とする（撮影IDの発行）。スタジアム1F正面チケット売り場にて許可を得ること。（ただし、陸上競技部員の許可は不要）
※観客席からの撮影制限について（プログラム参照）
○観客席で撮影禁止エリアを設ける。※競技中以外、後ろからの撮影は、禁止する。
○保護者および本人の了解がない撮影の禁止
○他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡する。
(9) 本競技場・補助競技場・投てき練習場・室内走路への入場時は、必ずIDを提示すること。
(10) トレーナールームは設けず、ゴール付近等に配置し緊急時に対応できるよう準備する。
(11) 東海高校総体陸上競技大会では、静岡陸協HPで記録速報を行う。